



図3.3.3 Platform Cable USB と FPGAボードの接続



上記、図3.3.3 のようにダウンロードケーブルとFPGAボードを接続するのですが、このとき接続方法としてJTAGモードとスレーブシリアルモードの2つがあります。それぞれのモードの違いは下記の通りです。

表3.3.1

モード	速度	ROM書込み	主な用途
JTAGモード	遅い	可	ROM書込みに使用
スレーブシリアルモード	速い	不可	開発中に使用



いずれのモードもFPGAへの書き込みはできますが、普段はダウンロードが高速なスレーブシリアルモードを使い、最終的に完成した回路データをROMに書込むときだけJTAGモードを使う、というのがよいでしょう。